

## 『早稲田大学高等研究所紀要 第10号』刊行にあたって

本紀要もこのたび第10号を刊行する運びとなりました。日頃よりご支援をいただいております皆様におかれましては、厚く御礼を申し上げます。

早稲田大学高等研究所は、次代を担う優秀な若手研究者の育成と本学の研究活動のより一層の活性化を目的に、2006年9月に設立されました。国際公募を通じて、文系・理系の分野を問わず広く若手研究者を採用し、自立的な研究環境と、分野を横断して活発に交流できる環境とを提供し、自由で先端的な研究活動を推進しております。

2017年度は、人文・社会・自然科学分野で合計29名の研究員が在籍し、その約4分の1は女性研究者であり、外国人の研究者も数名所属しております。これまで本研究所から、本学を含む国内外の大学・研究機関等へ送り出してきた研究員は百数十名におよび、現在各分野における第一線で活躍をしています。

本紀要はこうした研究員や、これまでに在籍した研究員（所友）の多様な分野の研究成果を収録しております。論文につきましては、学内外の各分野の研究者による厳正な査読を行っており、高い水準での発信に努めています。発信にあたりましては、時流を鑑み、冊子の完全な電子化を行いました。研究所のWebサイトでは、引き続き電子媒体を公開し、皆様の利用に供しております。

本研究所では、紀要の刊行のほか、研究員が英語にて研究成果を報告する月例研究会、研究員の企画による専門分野の講演会、英国Routledge社と連携して、人文・社会科学系の研究成果を書籍化する『Routledge-WIASモノグラフシリーズ』などを推進しており、学際的な研究拠点として優れた研究成果の発信に取り組んでいます。

こうした様々な成果発信の取組みとともに、本研究所の紀要が広く国内外の研究活動に貢献することができたら、これに勝る喜びはありません。

今後とも皆様のご指導とご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

2018年3月

早稲田大学高等研究所

所長 宮島 英昭

副所長 竹村 和久